

授業科目名	音楽表現 B (リズム&ダンス) (2100737)		
時間割名	音楽表現 B (リズム&ダンス) (35104)		
時間割担当	林悠子		
実施期	通年	単位数	2 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

本講義では、リズムやダンスを中心とした音楽表現について、その文化的背景や特性を理解するとともに、「創作」「実践」「鑑賞」活動を体験することで、楽しみながらダンスの基礎的能力の習得をはかることを目的とする。

学習の到達目標

- ・リズムやダンスを中心とした音楽表現の様々な例を知り、特性を理解する。
- ・音楽表現を自ら体得し、創作できる知識ならびに技能を習得する。

授業方法・形式

各授業テーマに基づき、テキストや参考資料を活用しながら講義ならびに実技により演習的に学んでいく。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 音楽教育・体育教育における身体表現とは何か。
- 第3回 国内外の音楽・身体表現の文化 国内の表現
- 第4回 国内外の音楽・身体表現の文化 国外の表現
- 第5回 国内外の音楽・身体表現の文化 国内の表現を鑑賞する。
- 第6回 国内外の音楽・身体表現の文化 国外の表現を鑑賞する。
- 第7回 国内外の音楽・身体表現の文化 まとめ
- 第8回 音楽表現が身体にもたらすもの 情動
- 第9回 音楽表現が身体にもたらすもの 空間性
- 第10回 音楽表現が身体にもたらすもの リズム・テンポ
- 第11回 音楽表現が身体にもたらすもの 非言語的コミュニケーション
- 第12回 音楽表現が身体にもたらすもの まとめ
- 第13回 音楽・リズムに合わせた動き（ウォーミングアップ） 1人で
- 第14回 音楽・リズムに合わせた動き（ウォーミングアップ） ペアで
- 第15回 様々なリズム
- 第16回 様々なテンポ
- 第17回 動きの作り方 さまざまな種類
- 第18回 動きの作り方 構成
- 第19回 即興 1人で
- 第20回 即興 ペア・集団で
- 第21回 身近なものを題材とした動き 音
- 第22回 身近なものを題材とした動き 形
- 第23回 フォークダンス 日本
- 第24回 フォークダンス 海外
- 第25回 作品の創作に向けてのオリエンテーション
- 第26回 創作 音楽構成
- 第27回 創作 動きの構成
- 第28回 創作 練習
- 第29回 作品発表・鑑賞
- 第30回 まとめ

成績評価の基準

授業への積極性や態度、小レポート、創作作品、全体的なまとめレポートから総合的に評価する。
(60%) さらに学期末試験において総合的な習熟度を確認する。(40%)

準備学習・復習及び授

各講義内で配付した資料等を見返し、行った動きや表現方法を練習するなどして体得に努めること。
日頃から各種の身体表現資料を収集したり観賞するなどして、興味関心を高めておくこと。

履修上のアドバイス及

私語や携帯電話の使用は慎み、他の受講生の妨げにならないよう、受講上の基本的なマナーを守ること。
実技を行う際には、必ずジャージ等動きやすい服装に着替えを行って受講すること。

教材・教科書

村田芳子(編)「最新 楽しいリズムダンス・現代的なリズムのダンス」小学館

参考書

特になし